

あいり

広報

'66/5

第97号

<お茶の間>にいて市政がわかる



活気あふれる 留萌港

- ／留萌港は、道北の商業港として、いま荷物の積降して活気にあふれている。
- ／春耕期を迎えての肥料の移入、ソ連船の肥料の輸入、そして木材、石炭などの積出しで目のまわる忙がしさ。
- ／秋頃には完成する黄金岬の石油タンク群。それを港と結ぶパイプなど留萌港の前途は明るい。